

## 誰一人取り残さない社会へ

### 令和3年度 大河原町社会を明るくする運動 ～内閣総理大臣メッセージ伝達式～

7月1日、役場第1会議室で、「令和3年度大河原町社会を明るくする運動～内閣総理大臣メッセージ伝達式～」が行われました。

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。この運動の中心となる保護司は、犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、さまざまな相談に乗ったり、指導をおこなって支えています。

伝達された内閣総理大臣のメッセージは、『新型コロナウイルスとの闘いが続く中で、望まない孤独や社会的孤立など、私たちが直面する困難を克服していくためには、互いに支えあう人と人との絆や他の人の苦しみにも我が事として救いの手をさしのべるコミュニティの存在が大切であり、立ち直ろうとする人を地域の輪に迎え入れて再出発を支え、誰もがやり直して輝ける、誰一人取り残さない社会を構築することが重要です。』という主旨のものでした。それを受けて、7月の“社会を明るくする運動”強調月間・再発防止啓発月間においては、啓発活動や作文コンテストなどの、コロナ禍を考慮した非接触型の活動を展開しました。



▲保護司の活動状況を説明する柴田地区保護司会大河原分会の小橋実永会長



▲保護司代表として内閣総理大臣メッセージを町長に伝達する佐々木由美子さん（右）

## いつまでもお元気で

菅野とめよさん・宍戸茂さん 100歳おめでとうございます

7月7日に100歳の誕生日を迎えられた菅野とめよさん（堤1区）と7月10日に100歳の誕生日を迎えられた宍戸茂さん（上谷1区）へ、町から敬老の意を表してお祝いと褒状が送られました。

これからもお体を大切に元気で過ごしてください。



▲菅野とめよさんご家族

とめよさんは蔵王町の出身で、月曜から金曜まで毎日デイサービスに通うのを、とても楽しみにしています。規則正しく朝、昼、晩とおいしくごはんを食べているそうです。



▲宍戸茂さんご親戚

茂さんは介護老人保健施設リラの郷で100歳を迎えました。お祝いのお礼にと、「長生」という歌をはっきりとした声で堂々と歌ってくださいました。あんこなどの甘いものが大好きだそうです。

## 異国の文化にも目を向けて

7月14日、金ヶ瀬中学校でテレビ会議ソフトを使用し、オーストラリアの中学生とオンライン交流を行いました。英語の授業の一環として行われた今回の交流では、英語での自己紹介や「桜」、「堤神楽」など大河原町の紹介、オーストラリアの文化についての質問などをしました。

緊張した様子で自己紹介や町の紹介を行っていた生徒も、交流が進むに連れ緊張も解けたようで、楽しそうに交流をしていました。特にアニメやゲーム、車などの共通の話題が出た際は、お互いにとても盛り上がっていました。

## オーストラリアの中学生とオンライン交流



▲オーストラリアのタンポポの話をお聴きする生徒

## 手紙で伝わる温かい気持ち

コロナ禍によって、地域イベントの中止が相次ぎ、高齢者の方々は地域との接点が希薄になっています。このような状況のなか、大河原町社会福祉協議会では、民生児童委員協議会と連携・協力し、大河原小学校の3年生に手書きのお手紙を書いてもらい、地域の高齢者（約200世帯）へ届けました。

地域の高齢者から御礼のお手紙が多数寄せられ、お互いに心温まるふれあいが生まれました。

## 小学生と手紙で交流



## 多くの寄附に感謝

6月10日、(有)村建地所の村上代表取締役より子どもたちの学習環境の充実のために使用してもらいたいと、寄附金10万円を贈呈いただきました。

6月15日、大河原ロータリークラブより町施設へ設置してほしいと、非接触式体温検知器6台を贈呈いただきました。

6月23日、さくらカード会の島貫会長より商工振興事業へ活用してほしいと、寄附金100万円を贈呈いただきました。



▲寄附金を手渡す(有)村建地所村上代表取締役（写真中央）



▲目録を手渡す大河原ロータリークラブの皆さん



▲寄附金を手渡すさくらカード会島貫会長（写真左）